

千葉県との包括協定に関する取組実績報告書（令和7（2025）年度）

企業名 株式会社セブン-イレブン・ジャパン

1 協定締結項目	2 令和7（2025）年度に実施した事項	3 左記の具体的内容
<p>①地産地消に寄与するオリジナル商品の開発と販売、販売促進に関する事</p> <p>②地元産品（農林水産物、加工品、工芸品）の販売・活用に関する事</p>	<p>地産地消商品開発・販売、千葉県フェア実施での販売促進・フェア売上一部寄贈、ギフト商品や菓子類など取り扱い拡大。</p>	<p>地産地消の取組みとして千葉県産食材を使用した商品の開発・販売を実施。千葉県からはチーバくんのXアカウント、弊社も公式Xで発信するなど、消費拡大に繋がるよう販売輸出戦略課と連携。</p> <p>継続して原材料を使用し安心生産と安定経営に貢献していくため、千葉県まち・ひと・しごと創生推進事業（畜産物販売力強化事業）へ寄付を実施。</p>
<p>③健康増進・食育に関する事</p>	<p>食の安心・安全対策を重視した商品開発、行政と連携した食育イベントや啓発POP掲出により県民の行動変容へ繋がる取組みを実施。</p>	<p>原材料の見直しや工程・温度管理により、味や品質を損なわずに消費期限の延長を実現。四街道市や流山市と連携し食育関連のイベントを実施。千葉県や富津市と連携し健康啓発（野菜摂取促進）POPを店舗にて掲出。</p>
<p>④地域福祉・少子高齢化対応に関する事</p>	<p>高齢者等の雇用促進</p>	<p>県内各市町村と共催・後援という形でシニア中心にお仕事説明会を年度内18回開催し71名が参加。</p>
	<p>買い物弱者対策</p>	<p>7 NOW（セブン-イレブンの商品をスマホで注文すると最短20分で自宅や職場に届ける宅配サービス）の対象地域を順次拡大。</p> <p>セブンあんしんお届け便（移動販売車）の出走。25年11月より佐倉市内1台出走開始。（現在県内8台出走中）</p>
	<p>千葉市と商品寄贈による社会福祉貢献活動寄贈品に関する協定に基づき、商品寄贈を実施。</p>	<p>閉店店舗の在庫の寄贈、千葉地区事務所勤務社員によるフードドライブ実施。</p>

1 協定締結項目	2 令和7（2025）年度に実施した事項	3 左記の具体的内容
⑤青少年の健全育成に関する事	セーフティステーション活動による青少年健全育成への取り組み	20歳未満者への酒類・たばこ販売禁止、成人向け雑誌の取扱い店削減、少年少女のたまり場化防止 各種街頭キャンペーンへの参加。
⑦環境対策、リサイクルに関する事	ペットボトルリサイクルの取り組み	船橋市（30店）と千葉市（107店）にてペットボトル回収機を設置。ボトルTOボトルの取り組み推進。
	食品ロス削減の取り組み	「エコだ値」：販売期限が近いおにぎりや弁当などのフレッシュフードを値下げ販売する取り組みを店舗にて実施。 「てまえどり」運動周知・促進：千葉県のとまえどりPOPを店舗にて掲出。出張授業やイベントで「てまえどりPOP」を児童や参加者が作成、店舗にて掲出。てまえどりPOPの台紙には行政のキャラクターを起用し、行動変容に繋がるよう連携。
⑧防犯、安全安心なまちづくりに関する事	セーフティステーション活動による地域の安全対策、防犯対策の取り組み	自主防犯（強盗・万引き等の防止対策）体制の整備、警察署と連動したアシストポリスを継続。富津署、君津署と連携し小学校にて駆け込み訓練を実施。
	セーフティステーション活動による特別・緊急対応	多くの店舗が年中無休、24時間営業という特性を活かして、女性・子どもの駆け込みや高齢者保護、強盗・万引き・特殊詐欺被害の防止、災害や事故、急病人への対応など、安全・安心を見守る地域の拠点として「セーフティステーション活動」（SS活動）に取り組んでいる。
	電話de詐欺対策	警察と連携した防犯訓練を実施。

1 協定締結項目	2 令和7（2025）年度に実施した事項	3 左記の具体的内容
⑨地域防災への協力に関すること	大規模災害に対する事業継続計画（BCP）を大幅改定	災害対応の基本理念 「人命最優先で行動し、安全を確保」 「店舗の早期再開による利便性の提供」 「地域社会への貢献」
⑩その他、地域社会の活性化・住民サービスの向上に関すること	AEDの設置	現在10市でAEDの店舗内設置を実施中：勝浦市、船橋市、松戸市、柏市、浦安市、我孫子市、印西市、白井市、いすみ市、市川市。